

令和2年度 第2回 スポーツ推進審議会

(議事録)

日時： 令和3年2月18日(木) 午後1時30分 ～ 3時00分

場所： 西宮市立中央体育館 1階 会議室

出席委員：会長・永田委員、副会長・小坂委員、林委員、稲森委員、大松澤委員、則包委員、
山本委員、土倉委員、白石委員

欠席委員：真多委員、米倉委員

事務局出席者：藤江文化スポーツ部長、反田スポーツ推進課(運動施設整備担当課長)、
田中スポーツ推進課長、スポーツ推進課(係長：釘田・久保、主事：樋上)、
学校教育課(黒川指導主事)

傍聴者：なし

<議事内容>

【報告事項】(1) 個別施設計画(長寿命化計画)の策定状況について

【事務局】

(資料に基づき説明)

[会長]

- ご報告があったが、いかがか。

[委員：スポーツ関係者(競技スポーツ)]

- 本計画の対象となる施設数はどのくらいになるのか。

【事務局】

- 市営住宅や学校など策定済みの施設を除いて300程度となる。
※策定済みの施設を除く216施設がとなる【後日確認して訂正】

[委員：スポーツ関係者(競技スポーツ)]

- 劣化状況調査の結果はどの程度のものだったのか。
- 劣化状況調査は評価フローでいう一次評価の前段階と考えてよいか。

【事務局】

- 一級建築士による目視による検査であり、中をたたき割って確認しているようなものではないが、運動施設であればテニスコートの芝の状況、フェンス、照明の劣化具合、建物の壁のクラックの有無や度合いなどを確認している。予想通り、直近で改修した施設はそれなりの程度を維持しているが、20～30年改修していない施設ではかなり劣化している結果となっている。
- ご指摘のとおり現状把握のための調査であり、評価フローの建物品質の基礎データとなる。

【報告事項】（2）西宮市における東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーの状況に

ついて

【事務局】

（資料に基づき説明）

〔会長〕

- ご報告があったが、いかがか。

（特に意見なし）

〔会長〕

- オリンピック開催をめぐってはいろいろと問題も起こっている。西宮市としてもどうするか考えていただきたい。

【報告事項】（3）西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業の状況について

【事務局】

（口頭で説明）

〔会長〕

- 避難所になる施設であり、出来るだけ早急に整備をお願いしたい。令和3年度にどのように進捗するのか。

【事務局】

- 令和3年の夏には財政収支見通しが立つのではないかと聞いている。従前の計画通りの事業

費が確保できるのか、できないのかという点も含めて、そこから判断することになる。

〔委員：スポーツ関係者（学識経験者）〕

- 完全に白紙になる可能性もあるということか。

【事務局】

- 従前の計画から変更するとなると、事業規模も何もかも変わることになる。たとえば、体育館の耐震改修程度の事業費なら確保できるとして、それだけでも数十億円かかるわけで、果たして耐震改修だけ実施するという判断で良いのかどうか、という問題もある。

〔副会長〕

- 本事業は従前であれば優先順位が高かったのであろうが、財政収支の見通しがついた後に、優先順位がたとえば中位程度に下がることは考えられるのか。

【事務局】

- 10 の大規模事業を停止中である。本事業は、避難所や雨水貯留槽整備など災害対策の面でも重要な事業であるため優先順位は高いのであろうが、競技エリアの規模などは財政状況との相談であると考えている。

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

- すべて市の税金で賄おうとしているのか、企業、個人からの資金提供（寄付など）は考えられないのか、本事業の前提を確認したい。

【事務局】

- PFI の手法を採用するため、民間企業の整備・運営手法を取り入れていくことになる。ネーミングライツやクラウドファンディングなど、一定の財源確保策を提示されるものと考えている。

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

- 阪神甲子園球場の改修事業の際、一定の寄附で球場南東側の地面に刻銘できるものがあつた。ネーミングライツだけが財源捻出の手法ではない。西宮市ほどの人口規模なので、市民の寄附文化も浸透してきていると思うので、さらに柔軟な発想で財源確保に努めていただきたい。
- 億単位で一気集めるのか、1 万円から個人単位で集めるのかなど、手法も様々であるが、西宮市民は市に愛着をもって住んでいる人が多いと考えられ、受け入れられやすいのではないかと。

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

- 今のお話で、ふるさと納税で生かす手段はないかと考える。西宮市であればふるさと納税で入ってくるより出ていく方が多いのであろうが、「スポーツのまち」という名目で市全体で

スポーツを盛り上げていければ良いと考える。

〔委員：スポーツ関係者（学識経験者）〕

- 自分たちの税金が使われているといっても、実際には薄まって実感が湧かず、どこか「他人事」になってしまいがち。自分が直接寄附した財源でスタジアムやアリーナが整備され、形が残ると「他人事」ではなくなり、愛着も沸いてくるのではないか。非常に良い考えである。

〔会長〕

- 非常に良い意見が出たと思うので、ぜひ検討いただきたい。

【報告事項】（４）運動施設条例改正（サンアビリティーズにしのみやの移管）について

【事務局】

（資料に基づき説明）

〔委員：スポーツ関係者（生涯スポーツ）〕

- 普段よく利用する施設であるが、今まではサンアビリティーズにしのみやは個別の申込であったが、令和3年4月1日以降はすべてスポーツネットにしのみやでの申込・抽選・予約になるのか。
- 利用区分が8時～22時の7区分となっているが、早朝8時や夜の20時からの利用者がそこまで多いのかという印象である。

【事務局】

- 中央体育館では23時までの夜間利用延長を試行的に実施しているが、学生や勤労者の方などまずまずの稼働率となっている。サンアビリティーズにしのみやは阪神西宮駅から近く、もともと95%ほどの高稼働率であるので、利用枠の拡大はもとより、早朝や夜の遅い時間帯などでの運動・スポーツをライフスタイルとして定着していただくきっかけとしても有効ではないかと考えている。

その他

〔会長〕

- その他、どのようなことでもよいのでご意見はいかがか。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

- 中央運動公園再整備事業において、今後見直しがされるということがあるのならば、以前からもお願いしているものであるが、あらためて2点お願いしたい。1点目は、陸上競技場をより公式の形に近づけられないかということ。2点目は観客動員の面でも小学生陸上競技大会が5,000～6,000人程度の参加があるが、同程度の規模が収容できるよう配慮いただきたいこと。来年度は小学生の参加者を800人程度で絞る計画をしているが、コロナが収束したあかつきには以前の規模に戻すことが可能なように計画をお願いしたい。

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

- 新型コロナのワクチン接種会場で、市立体育館を会場として使用する計画はあるのか。利用制限など。

【事務局】

- 現在、ワクチン接種会場として公民館や地区体育館など17施設が候補に挙がっているが、西宮市医師会との調整が続いている。市中のクリニック等で摂取できるようになれば、集団接種会場もかなり減らすことができる。また平日は会場が確保できたとしても、施術する医師の確保が困難であるということもあり、2月末までは調整が続くものと考えている。

〔委員：スポーツ関係者（市民）〕

- サンアビリティーズにしのみやの指定管理者選定のスケジュールを教えてください。

【事務局】

- 指定管理者選定については、令和3年の9月～10月頃に選定委員会を実施、12月定例会に選定結果を報告、議案を上程する予定である。

〔委員：スポーツ関係者（市民）〕

- 中央運動公園再整備事業において、なぜ屋内プールがないのかという疑問を持っている。市中の屋内プールでは、水泳だけではなくウォーキングなど健康面をフォローする利用形態が多くなっている。中央運動公園には体育館、陸上競技場、武道場など立派な施設があるが、西宮スポーツセンターの屋内プールが震災で潰れて以降は現在まで施設はない。計画に屋内プールだけがないのは何か理由があるのか。西宮市ほどの人口規模を誇る市としては残念な現状である。

〔会長〕

- 屋内プールは計画が決まる前から要望があった。その後、事業停止した後にリゾ鳴尾浜が営業終了になったこともあり、計画の見直しがあるのであれば追加していただきたい施設ではある。

【事務局】

- 基本構想、基本計画、入札にかけた計画まで事業を練り上げてきたが、その間にも屋内プー

ルの整備に対する要望は強いものがあつたと認識している。維持管理費用も合わせて総事業費 162 億円という上限を設定したが、屋内プールを含めるとライフサイクルコストで数十億円の追加費用が発生する。現状は無い施設であることから整備を断念したという経緯である。たしかにリゾ鳴尾浜の営業終了は影響が大きい、それをもってしても本事業の計画に追加するという事は困難である。

(意見が出尽くした後、会長より今期をもって退任される真多英博委員のご紹介があつた)

〔会長〕

- では今後のスケジュールについて、事務局より連絡されたい。

【事務局】

- オリンピック聖火リレーは 5 月 24 日（月）に甲子園球場周辺で実施する。
- パラリンピック聖火リレーについては調整中。
- 個別施設計画は策定期間が令和 3 年度に延長されており、所管課としても早期に策定して計画的な管理を実施していきたい。
- 中央運動公園再整備については夏の財政収支見通し次第である。屋内プールについては要望が一番強いものと認識しているが、民間プールがないわけではないので、計画に入れるのは困難である。引き続き市民に喜ばれる施設の整備を検討していきたい。
- サンアビリティーズにのみやは令和 4 年 4 月 1 日～労政課からスポーツ推進課へ移管される予定。運営についてはまた皆様のご意見を伺いたい。
- 審議会は年 2～3 回実施しているの、次回は 5・6 月に実施予定。また日程調整をさせていただきます。

以 上